



新渡船『令和聖』



落ち着いた雰囲気の内装の様子



令和聖がクレーンにつるされ、湖面に降り立とうとする瞬間

ユネスコエコパークに登録された、静岡市井川と川根本町の魅力を伝える、地域でつくる新聞

# 井川と川根をつなぐ いかわ村新聞 No.14

## 『令和聖』 井川湖に降り立つ



いかわね新聞第14号 2020年8月1日発行(年2回発行)  
発行 南アルプスユネスコエコパーク静岡地域連携協議会  
〒4208602 静岡市葵区追手町5-1 静岡市環境創造課内  
TEL 054(221)1357

〔会員〕静岡森林管理署、天竜森林管理署、静岡県、静岡市、川根本町、株特種東海フォレスト、中部電力(株)静岡水力センター、しずてつジャストライン(株)、大井川鐵道(株)、千代田タクシー(株)、川根本町森林レクリエーション推進協議会、井川山岳会、自然公園指導員、〔協力〕井川観光協会、川根本町まちづくり観光協会、南アルプス井川エコツーリズム推進協議会、一般社団法人エコティかわね

〔会の紹介〕南アルプスユネスコエコパーク静岡地域連携協議会は、南アルプス周辺の地域の自然環境の保全と文化の継承を図り、その持続可能な利活用を推進することを目的とした協議会です。※この新聞では、川根本町の情報を「かわね」と表記しています。

### 井川自然の家に待望の 家族・グループ部屋完成!!



南アルプスユネスコエコパーク井川自然の家は、自然とのふれあいを楽しみたい方ならどんなでも宿泊できます。令和2年4月より、施設を一部リニューアルし、最大5名様までご利用可能な和室4部屋を新たにオープンしました。どの部屋もバス、トイレ、ミニキッチン、電子レンジ、

冷蔵庫を備え、ご家族やお友達同士などの滞在に最適なお部屋です。また、テラスがあり、標高1000mの爽やかな空気を満喫しながら、お気軽にバーベキューを楽しめます。緑の木立に囲まれた井川自然の家で、森林浴をたっぷり味わってはいかがでしょう。



カラフトヒゲナガカミキリ

**井川の昆虫たち**  
〜学校への小さな訪問者〜  
私は、趣味でカミキリムシの採集を四年以上続けています。井川小中学校の周りには、広葉樹が少なく、スギやヒノキ、アカマツ、モミなどの針葉樹に囲まれている。

ていて、学校の白い壁には、毎日いろいろな種類の昆虫が訪れます。今回は、カミキリムシを中心に紹介します。これまでには、約三十種類です。この中には、日本一長いヒゲをもつ

ヒゲナガカミキリや、とうていカミキリムシとは思えないハイロハナカミキリ、なかなか見つけることのできないヨツボシシロオビゴマフカミキリもいます。また、本年度は、アカマツの倒木に集まるカラフトヒゲナガカミキリも

教えてくれたのは、井川小中学校の仁藤展輝校長先生です

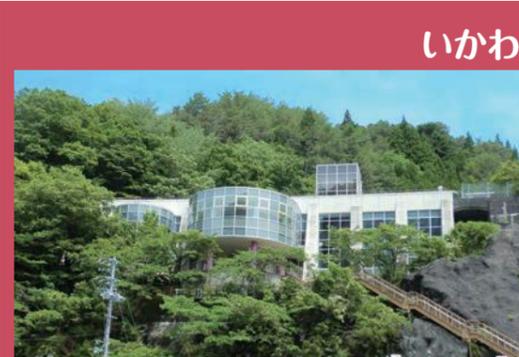


ハイロハナカミキリ



ヨツボシシロオビゴマフカミキリ

やってきました。気まぐれな小さな訪問者が数多く見られるのも、豊かな自然環境に囲まれているからであり、まさに井川の宝と言えるでしょう。皆さんも井川を訪れた際には是非、小さな昆虫を探してみてください。



### 井川展示館

井川ダムのおすぐそばにある井川展示館。館内にはダム役割や自然と電気との関係を学べる展示だけでなく、割田原遺跡の土器等も展示されています。井川ダムメモリアルコーナーでは、ダム建設当時の貴重な映像を見ることができ、昭和の井川へとタイムスリップしてしまいそう…。井川ダムカードもここでゲット! 展望台からダムと山々を眺めるのんびりした時間の過ごし方もおすすめです。

【お問合せ先】  
中部電力(株)静岡水力センター 0547-59-3120



### 長島ダムふれあい館

長島ダムや大井川流域について紹介する施設です。また、エコパークの情報発信拠点として周辺の観光情報も収集できます。館内からは、長島ダムの勇壮な姿と、急勾配の坂を登る井川線アプト式列車の様子を見ることができます。「令和2年6月に、長島ダムの建設を記録した90冊もの写真アルバムを町内の方から寄贈いただきました。他では見ることができない貴重な資料です。ぜひ当館に遊びに来てください。」(ふれあい館スタッフ一同)

【お問合せ先】  
長島ダムふれあい館 0547-59-1100(木曜定休)

令和2年6月27日(土)、井川湖に新しい渡船が進水しました。新渡船の名前は『令和聖』。船名は井川地域で公募し、全34候補名から「新しい時代の到来」「後々の時代風景を喚起させる名称」「井川の誇る聖岳の名をつけたい」との理由からこの名が選ばれました。渡船の更新は22年ぶりのことで、今回は2隻ある渡船のうち『第二聖丸』を更新しました。定員は12人から20人へ拡大、船室・テーブルも設置されています。船内で一杯飲めたら楽しそうという声も。(現在は縮小営業中のため定員10人・予約制)

進水当日は地域の方々が見守る中、井川ダムに令和聖を載せたトラックが到着し、作業がスタート。クレーンで船が吊られ湖上に降ろされる際には、皆が珍しい作業に見入ったり、カメラを構えたりしていました。『令和聖』は湖上へゆつくりと降ろされると井川本村の渡船場へ移送されました。

井川湖渡船の歴史は長く、昭和33年のダム建設により対岸への交通手段を失った住民の利便を図るため運航を開始。現在は対岸交通に加え、井川地区への観光客を誘う遊覧運航で活用されています。『令和聖』には船室が設置されていることもあり、今後は寒さの厳しい冬季も含め四季折々の新しい企画が予定されているようです。『令和聖』の乗船予約・お問い合わせは静岡市役所井川支所(電話054-260-2211)へ。